

平成25年7月16日
HMA.22

新規実施項目のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。このたび、下記の検査項目を新規受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。今後とも引き続きお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 平成 25年 7月 22日（月）ご依頼分より

新規検査項目	検査材料	採血容器	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値
グルカゴン（IRG）	血液 (3ml)	D (EDTA- 2Na+ アプロチニン 入り)	4～11日	150点 生化Ⅱ 144点	RIA2抗体法	70～174 (pg/ml)
トリコスポロン・アサヒ抗体	血液 (3ml)	X (生化学用)	7～15日	900点 免疫学 144点	Antigen- captured ELISA	0.15未満（CAI） ※1 判定基準 下記参照

※1【トリコスポロン・アサヒ抗体 判定基準】

CAI (Corrected Absorbance Index: 補正吸光度)	判定
0.15未満	陰性
0.15～0.30未満	判定保留
0.30以上	陽性

※ 裏面もご参照ください

● グルカゴン (IRG)

《対象疾患》

- ・グルカゴノーマ(グルカゴン産生腫瘍)
- ・糖尿病

《関連項目》

- ・グルコース
- ・インスリン
- ・活性型 GLP-1(抽出法)

検査項目名	グルカゴン (IRG)
項目コード	2386-03
検査材料	血液 (3ml)
容器	D (EDTA-2Na+アプロチニン入り)
所要日数	4~11日
検査方法	RIA2抗体法
基準値(単位)	70~174 (pg/ml)
実施料	150点 (D008「内分泌学的検査」の15)
判断料	144点 (生化学的検査(Ⅱ))

● トリコスポロン・アサヒ抗体

トリコスポロン・アサヒ抗体は夏型過敏性肺炎の主要な原因真菌です。

《対象疾患》

- ・夏型過敏性肺炎

夏型過敏性肺炎は、トリコスポロン属の真菌胞子の反復吸入により発症するアレルギー性肺疾患で、日本の過敏性肺炎の約70%以上を占める特徴的な疾患です。

発症時期は、トリコスポロンが高温多湿の居住環境で増殖する7月をピークとした夏季に多く、発症環境の大部分は患者自宅です。予後は、亜急性では良好ですが、居住環境から原因抗原が除去されずに再発を繰り返して慢性型に移行すると、肺の繊維化をきたし呼吸不全に至ることもあり、早期診断が必要です。最近では、居住環境の気密化や加湿器の普及により、発症環境は古い木造家屋に限らず、発症時期も長期化の傾向があるといわれています。

トリコスポロン・アサヒ抗体検査は、呼吸器系感染症や間質性肺疾患との鑑別に有用と考えられます。

※1【トリコスポロン・アサヒ抗体 判定基準】

CAI (Corrected Absorbance Index: 補正吸光度)	判定
0.15未満	陰性
0.15~0.30未満	判定保留
0.30以上	陽性

《関連する項目》

- ・白血球数
- ・CRP
- ・特異的 IgE (C-PAC16 アレルゲン) 鼻炎・喘息用

検査項目名	トリコスポロン・アサヒ抗体
項目コード	7449-02
検査材料	血液 (3ml)
容器	生化学用 X
所要日数	7~15日
検査方法	Antigen-captured ELISA
基準値(単位)	0.15未満 (CAI) <u>※1 判定基準 上記参照</u>
実施料	900点 (「D014」自己抗体検査の25)
判断料	144点 (免疫学的検査)